

すくすく園では、お子様が病気の回復期にお預かりしています。普段は元気いっぱいの子ども達も疲労で体調を崩すこともあります。ご家庭でもかかりやすい病気についての症状と正しい対応を知っていればあわてずに済みます。鳥取県中部感染症流行情報を参考にいただき、手洗い、消毒、うがい、マスク着用を徹底しながら病気に負けないように体調管理を心がけていきましょう。

鳥取県中部感染症流行情報

疾病名	第1週	第2週	第3週	第4週
インフルエンザ	×	×	×	×
感染性胃腸炎	○	△	△	×
水痘（水ぼうそう）	△	×	×	×
流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）	×	×	×	×
手足口病	×	△	△	△
ヘルパンギーナ	◎	◎	△	○
咽頭結膜熱	△	×	×	△
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	×	×	×	×
流行性角結膜炎	×	×	×	×
マイコプラズマ肺炎	×	×	×	×
伝染性紅斑	×	×	×	×
RSウイルス感染症	○	○	○	○

★警報発令中

◎流行している

△散発

○やや流行している

×患者発生極少又はなし

今月の気になる病気

RSウイルス感染症

RSウイルス感染による呼吸器の感染症です。何度も感染と発病を繰り返しますが生後1歳までに半数以上が、2歳までにほぼ100%の乳幼児が感染するとされています。9月頃から流行し、初春まで続くとされてきましたが、近年では夏季より流行が始まるようになってきています。非常に感染力が強く、幼稚園や保育園などの施設内感染に注意が必要です。

どんな症状？

発熱、鼻水などの症状が数日続きます。多くは軽症で済みますが、咳がひどくなる、『ゼーゼー、ヒューヒュー』という喘息を伴った呼吸困難が出るなどの症状が出現した場合は、細気管支炎肺炎へと進展することがあり注意が必要です。潜伏期間は2～8日、典型的には4～6日です。初めて感染する乳幼児の約7割は、数日のうちに軽快しますが、約3割は咳が悪化し、喘息呼吸困難症状などが出現します。重篤な合併症として注意すべきものには、無呼吸発作急性脳症等があります。

感染経路

RSウイルスに感染している人の咳やくしゃみ、または会話をした際に飛び散るしぶきを浴びて吸い込むことで感染します。感染の多くは、この『飛沫感染』によると考えられドアノブなどの環境表面についたウイルスへの接触により、鼻や口などの粘膜や傷口などを通して感染する『接触感染』も成立します。

予防策

・十分な手洗いと手指消毒 ・タオルや食器などは別々に使用 ・外出時はマスク着用

